



「子どもの読書週間・子ども読書の日」に読書に親しもう！

子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所をとの願いから、「こどもの読書週間」は1959年（昭和34年）に誕生しました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間（5月1日～14日）でしたが、子どもの読書への関心の高まりを受けて、「子ども読書年」である2000年より現在の4月23日（世界本の日・子ども読書の日）から5月12日に期間を延長しました。幼少のときから書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、ものごとを正しく判断する力をつけておくことが、子どもたちにとってどんなに大切なことか、子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるとき、それが「こどもの読書週間」です。

【公益社団法人 読書推進運動協議会HPより】



こどもの読書週間に親子ではじめよう「1日20分読書」!

子どもが生涯にわたる読書週間に身につけるためには、乳幼児期から読書に親しみ、小学生期、中学生期、高校生期へと子ども自身がその成長に応じて読書の楽しさを知ることができるよう、読書環境の整備に社会全体で取り組んで行くことが必要です。鹿児島県及び徳之島町では、「子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動の推進を図っています。

<家庭で取り組む「1日20分読書」運動～心に残る1冊の本との出会い～>

- 近くの図書館（室）に出かけて本を手にとってみましょう。
- テレビやゲーム、スマホは少しやめて、家族で読書をしてみましょう。
- 我が家の「読書の日」を作ってみましょう。
- 読み聞かせの時間を作ってみましょう。（大人から子ども、子どもから大人へ）
- 家族で読んだ本を紹介し合ってみましょう。
- 家族で料理や工作などの本を読んで、一緒に作ってみましょう。

親子で読書に
親しもう!



第2回とくのしま劇団 公演!!

1月25日（日）町文化会館で、とくのしま劇団の公演「シマヌエイリアンズ」（昼夜2回）が開催されました。本事業は、演劇を通じた創造性や表現力、異世代間交流によるコミュニケーション能力の向上を目的とした事業で、令和6年度から開始した事業です。

徳之島島内の小中学生17名が出演しました。ストーリーは、島の森を舞台に外来種問題や人と自然の共存を描きました。約300人の来場があり子どもたちの頑張りを応援しました。

とくのしま劇団事業は、令和8年度も実施していきます。詳しい募集内容は、徳之島町公式ウェブサイトと各学校に募集チラシを配布いたします。



R8年度 家庭教育推進事業について

家庭教育は、全ての教育の出発点と言われ、保護者がその子に対して行う教育のことを言います。本町では、家庭教育支援チーム「つむぎたい」を中心として、家庭教育の推進に取り組んでいます。また、家庭教育支援員やアドバイザーを委嘱し、親子体験講座の実施や、子育てサロンの開設、各種健診時における家庭教育講話を行うほか、子育てに悩む保護者に寄り添うため、家庭教育相談も随時行っております。

【令和8年度実施内容】

- 家庭教育相談 ○親子体験講座の実施 ○家庭教育学級での家庭教育講話
- 子育てサロンの運営 ○各種健診時や就学時健診における家庭教育講話
- 家庭教育に関する講演会の実施 ○小学校1年生に対するセカンドブック事業の実施



セカンドブック贈呈式(母間小)

事業費	1,657千円	
財源内訳	町負担額	977千円
	県支出金	680千円
主な経費	家庭教育学級等報償費	906千円
	旅費	220千円
	消耗品費	444千円
	会場借上料	74千円
	その他	13千円

社会教育委員の会議とは

徳之島町教育委員会社会教育課には、現在11名の社会教育委員がいます。さまざまな職種の方を社会教育法に基づいて町教育委員会が委嘱しており、任期は2年で、再任を妨げません。年3回会議を行っています。

主な職務は、社会教育に関することについて、助言や提言を行うこと等です。

また、三町の社会教育委員の研修会を持ち回りで開催し、情報共有や資質向上を図っています。

そして大島地区の総会・研修会へも出席し、社会教育委員の取組等について協議し、よりよい施策を提言しています。

今後とも町教育行政へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



社会教育委員の会議の様子

4月行事予定

- 4月8日(水) 1学期始業式
- 4月9日(木) 小中学校入学式
- 4月10日(金) 幼稚園入園式
- 4月18日(土) 青少年育成の日(毎月第3土曜日)
- 4月19日(日) 家庭の日(毎月第3日曜日)
- 4月25日(土) 子ども読書週間行事「親子で工作」(図書館)
- 4月29日(水) 町地域女性団体連絡協議会総会(予定)



4月のおはなしの時間 11日25日



家庭教育支援チーム「つむぎたい」から一言

朝の忙しい時間を乗り切るために
日頃の段取りが重要!

たとえ寝坊しても簡単に食べられるもの(ヨーグルトなど)を常備しておく、明日使うものは今日のうちに準備を済ませておくなど、日頃の段取り良い行動で忙しい朝をスムーズに乗り切ることができます。明日のための貯金としてはじめましょう。

